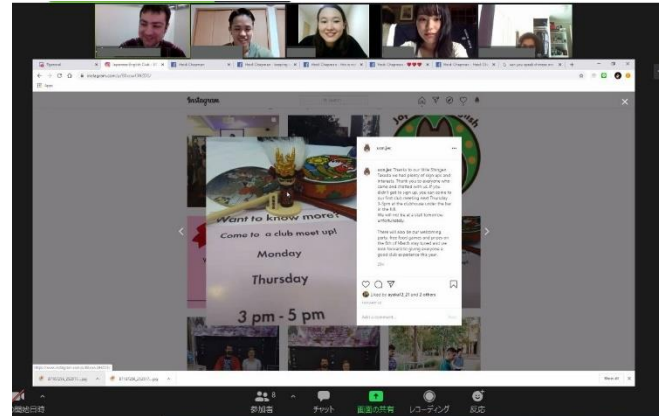


1回目の体験は、初めての交流ということもあり、自己紹介や簡単なゲームなどのアイスブレイクを行いました。本イベント企画者のショーンさんは大の犬好きで、かわいらしい愛犬の写真を見せてくれました。

その後は「True or False ゲーム」というものを行いました。本当のことを嘘と交えながら紹介して、どれが嘘かを見破るというゲームです。印象的だったのは、オーストラリア出身の参加者の「鹿肉を食べるのが好き」という質問が果たして本当であるかどうかです。気になった方は是非「オーストラリア ジビエ」と調べてもらえると、果たしてこの質問が真か偽か判断することができます。

このように複数のセッションを通して、お互いのことはもちろん、文化の違いについて知ることができて、大変有意義な時間を過ごせました。



2回目の体験も、初めにお互いに自己紹介をして、リラックスして始まりました。自己紹介が済んだ後は、「インサイダーゲーム」というゲームを行いました。

決まっているお題を答えるためのヒントを得る為に質問を繰り返し、お題を予想していくというゲームでした。日本語と英語どちらも使いながら質問し、積極的にコミュニケーションを取れたと思います。さらに、このゲームには「インサイダー」という

役職を持っている人が1人おり、その人が誰なのかを予想するのも、また大きな醍醐味でした。「インサイダー」が意外な人だった時の驚きはとても大きかったようです！ゲームを通して、日本語と英語を使いコミュニケーションを取る事で、とても充実した国際交流になりました。

体験3回目は「Pictionary」というゲームを行いました。3チームに分かれて、すごろく形式でゲームが進んでいきます。それぞれのマスに表示されているコマンドの元、各チーム一人ずつパソコン上で絵を描いていきます。その絵が何を表しているかを当てていくものです。リモートで行いながらも、それぞれの絵をシェアしながら一緒に考えていくことで盛り上がり楽しい会となりました。

昨今のコロナ禍で日本のみならず世界中で留学の中止が相次ぎ現地での国際交流が難しいなか、それぞれの国からこのような形で交流することが実現し、非常に貴重な機会でした。

